

【第 103 回薬剤師国家試験 Medisere 国試のやま 科目：実務】

①

【項目】医薬品の用法

【やま内容】フェンタニル口腔粘膜吸収剤

【問題】フェンタニル口腔粘膜吸収剤は、突出痛に対し使用回数の制限がない。

【解答】×

【解説】フェンタニル口腔粘膜吸収剤は、突出痛に対し1日に4回まで使用可能である。一般に、レスキュー薬の使用回数に制限はない。

②

【項目】服薬指導

【やま内容】抗生物質と飲食物の飲み合わせ

【問題】メイアクトMS（一般名：セフジトレンピボキシル）小児用細粒は、牛乳アレルギーの患者に対して禁忌である。

【解答】×

【解説】「メイアクト小児用細粒」には添加物としてカゼインナトリウムが含まれており、牛乳アレルギーの患者には禁忌であったが、「メイアクトMS小児用細粒」にはカゼインナトリウムを無添加としたため、禁忌ではない。（現在、メイアクト小児用細粒は販売中止）

③

【項目】服薬指導

【やま内容】セフジトレンピボキシル細粒による副作用

【問題】セフジトレンピボキシル細粒の長期間投与により低血糖を起こすことがある。

【解答】○

【解説】セフジトレンピボキシル細粒は、経口吸収を高めるためエステル結合によりピボキシル基を導入させたプロドラッグである。腸管から吸収されるとエステラーゼにより加水分解され、活性体となり薬効を示す。一方で、ピボキシル基はピバリン酸とホルムアルデヒドに分解され、ピバリン酸は血中でカルニチンと結合した後、尿中に排泄され血液中のカルニチン濃度が低下する。その為、脂肪酸からのエネルギー合成が抑制され低血糖症状を引き起こす。

④

【項目】服薬指導

【やま内容】副作用と症状

【問題】副作用名と症状の組合せで誤っているのはどれか。

- 1 消化性潰瘍——胃痛、黒色便
- 2 スティーブンスジョンソン症候群——発熱、紅斑
- 3 赤血球減少——息切れ、めまい
- 4 末梢神経障害——皮膚が固くなる、手足がしびれる
- 5 ネフローゼ症候群——むくみ、尿の泡立ち

【解答】4

【解説】この症状が見られるのは手足症候群である。末梢神経障害では皮膚症状は見られない。

⑤

【項目】服薬指導

【やま内容】生活指導(痛風)

【問題】痛風発作の原因として、優先順位が低いのはどれか。2つ選べ。

- 1 ビールの多飲
- 2 急激な強度の運動
- 3 乳製品の摂取
- 4 高尿酸血症治療薬の服用開始
- 5 禁煙

【解答】3,5

【解説】痛風発作は尿酸値が急激に上昇若しくは急激に変動した際に起こる。

- 1 ビールにはプリン体が含まれているので多飲により痛風発作が誘発されることがある。
- 2 急激な強度の運動は核酸分解を促し、急激に尿酸値が上昇するため痛風発作の原因となることがある。
- 3 乳製品には痛風発作の発症リスクを下げる効果や尿のアルカリ化作用があるため、摂取が推奨されている。
- 4 高尿酸血症治療薬で尿酸値を急激に低下させても発作に至る。
- 5 禁煙にて痛風発作がおこりやすくなるという報告はない。